

## 道

NO. 117

2012. 11. 16

## 文化祭の作文 4組編

・10月27日に文化祭がありました。3年生の合唱コンクールがきたときは、すごくきんちょうしました。しかも一番最初なので、よけいにきんちょうしました。本番前に歌を決めました。『地球の鼓動』が決まったときは、どういう歌なのかかわしく知りませんでした。歌ってみたら、クラスに合った歌なんだなあと思いました。最初はぜんぜんだめだったけど、本番が近づくとつれてじょじょにうまくなっていきました。みんな、音とりができてきました。一人ひとりみんなでやって、がんばった合唱コンになったかなと思います。そして、本番は金賞をとれなかったけど、楽しい合唱コンになり、くいのない一日になりました。ほとんどの行事が終わり、あとは受験に近づいていきます。文化祭という大きな行事なので終わってしまうと、ぼっかり穴があいてしまいました。

今ふりかえてみると、あっという間の一日でした。和太鼓からはじまって、1年・2年・3年合唱、てんじ見学、吹奏楽、手話、3年ソーラン節。和太鼓は、すごい迫力でした。1年生は、きれいな歌声ですごかったです。2年生は上級生らしい歌でした。てんじは、個性あふれる作品をかざっていました。吹奏楽は、すごくきれいな演奏でした。手話は、かっこよかったです。3年生ソーラン節は、みんなかっこよかったです。クラスとしては、絆が深まったと思います。

熊倉 聖人

・(前略) 朝練では女子の肺活量を増やせるように紙を階段に立てて、一人ずつ倒せるようにやりました。紙を倒すのは簡単だと思っていました。私の前の人は簡単そうに倒していたからです。私の番です。私は大きく息をたくさん吸いました。大きく息を吸ったつもりでしたが、紙はなかなか倒れませんでした。それは、私の息が全然足りない

ということでした。その時から私は歌をうたうことに真剣になり、いつもの練習ではプレスや強弱をつけたり、いつも言われているスマイルに気をつけて歌いました。ですがスマイルはとても難しく、歌いながらというのは大変だと感じました。そうしているうちに、当日になってしまいました。

文化祭は、なぜだかきんちょうしていませんでした。ですが2年生に入った所から、とてもきんちょうしてきて、手に汗がすごかったです。いよいよ4組の番です。舞台上がった時のきんちょうはジェットコースターに乗る前のように、心臓がいたかったです。伴奏が始まってからは歌にせんねんして、今までの成果を出すように精一杯歌いました。指揮者と伴奏者が入れ替わっている間は、足がガクガク震えていました。歌は今までにくらべて、とても良かったんじゃないかと思いました。今までのことが一瞬にして甦りました。合唱コンクール結果発表では金賞は取れませんでした。みんなががんばってひとつのことをやりとげたことがとてもいいことだと思いました。最後の文化祭で、とても良い思い出ができました。この出来事を忘れないでください。

横田 華絵

・今年の文化祭は、とてもいいものになった。今までの文化祭ではハッキリ言って、ほとんど『楽しい』と感じたことがなかった。だが、今年の文化祭はとても楽しかった。皆で席を立てて『敬礼』をしたり、最後の3年生による『ロック ソーラン節』も見て、とても熱くなりとても楽しかった。個人的に思い出に一番残ったのは、やはり合唱コンクールだ。この合唱コンクールからは、色々なものを学んだ。その中でも、特に学ばせられたのは『仲間の大切さ』だ。誰か一人が休むと、全体のバランスががらっと変わる。仮定で、もし休んだ人が大きな声で歌う人だったらどうだろうか。そのパートの音量は下がってしまうだろう。このように大きな影響を与えることがある。だから、今回の合唱コンクールから『仲間の大切さ』を学んだのである。

本当に今回の文化祭は楽しかった。自分たちにとって最後であり、向中にとっても最後であるから、少しひいき目で見ているからかもしれない。しかし、とても面白かった。全体的に本当に面白かった。各部活動の発表も面白く感じた。でも、もうこんなに楽しい文化祭は体験することはないだろう。そう思うと、なんだか切なくなってくる。このメンバーで、合唱することすらないのだろう。だから、今回の文化祭は絶対に忘れない。というよりも忘れたくない。今回の文化祭は、一生心の中で生きることだろう。

正田 樹

※来週の予定は、裏面に載せてあります。

# 来週の予定

	19日(月)	20日(火)	21日(水)	22日(木)	23日(金)
予定			朝学習	朝学習	
1	数学	国語	授業	授業	勤
2	英語	理科	授業	授業	労
3	美術	技術家庭	授業	授業	感
4			授業	授業	謝
給食	なし	あり	あり	あり	の
5			授業	授業	日
6				授業	
備考	定期考査3	定期考査3 避難訓練 専門委員会			